



NPO法人 Dragons Baseball Academy

ドラゴンズベースボールアカデミー

2017 活動報告書

組織紹介

設立趣旨

近年、若年層の野球離れが進んでおり、現状のままでは、この野球離れがさらに進んでいくことが予想されます。そこで、野球の再興ないし発展を目指し、野球離れに歯止めをかける必要があります。また、野球に取り組む子どもたちにおいては、専門的かつトップレベルの野球指導を受けたいという要請が多くあります。そこで、地域の子ども達に対し、幼い頃より野球に触れさせてその楽しさを体感させるとともに、元プロ野球選手による本格的技術指導を主とした野球教室を提供するアカデミーを設立することにしました。そして、これら活動を公益性のある団体として活動していくためにNPO法人として立ち上げることとしました。

設立目的

- 社会貢献
- スポーツ振興 野球振興 野球普及
- 幼児・児童・少年の健全な成長・発達
- 元プロ野球選手セカンドキャリア支援指導者育成
- 地域社会の活性化・市町村民のための事業

組織紹介

【理事長】 矢野博也 【理事】 大西正一／加藤宏幸 【監事】 石堂典秀

設立

【設立年月日】 2015年8月7日

組織概要

【名称】 特定非営利活動法人ドラゴンズベースボールアカデミー

【住所】 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目1番1号



ごあいさつ

理事長挨拶

佐々木崇夫理事長から引き継ぎ、二年目を迎えるドラゴンズベースボールアカデミー（DBA）理事長に就任しました。球団創設80周年記念事業の一環として、前理事長が設立したDBAをさらに発展させるべく想いを新たにしています。

近年野球離れ、競技人口の減少が指摘されています。この状況にストップをかけるべく野球の普及活動、少年野球選手の育成、野球の振興活動を積極的に行っていきたいと思っております。

小学生がなりた職業では、「野球選手になりたい」が苦戦しているようです。アカデミー参加者の皆様にはプロ野球を身近に感じていただき、将来は「野球選手になりたい」夢を持つ、野球が大好きな子どもを増やすことを目標にしたいと思います。

多様化するプロスポーツ。後発のプロ競技も普及に務めており、野球もぼやぼやしてはられない時代が到来しています。その一方で野球がで

きる環境や機会が減って来ています。野球は禁止の公園が増え、自由に遊べる広場も少なくなっています。さらに地域のクラブチームは小子化の影響を受けチーム自体が消滅の危機に見舞われています。

東海地方唯一のプロ野球球団である中日ドラゴンズとドラゴンズベースボールアカデミーが一体となって、愛知県を中心とした東海地方の人たちを元気に、そしてアクティブにすること。これが私達の使命であると思っております。

野球をこよなく愛する小中学生の皆様ふるってのご参加を心からお待ちしております。

中日ドラゴンズ代表取締役社長
ドラゴンズベースボールアカデミー理事長
矢野 博也



校長挨拶

ドラゴンズベースボールアカデミー創設2年目を迎えます。あっと言う間に1年が過ぎました。手探りで始めたスクール事業です。いかにプロ野球出身者であるとは言え、こどもの指導に長けている訳ではありません。またご両親の想いともいささか違った事もあったかもしれません。しかしこども達は、楽しんだり、充実したり、うまくいかなかったり、我慢したりと色々な体験をしてもらったのではないのでしょうか。このような体験を野球の中で沢山積んでいって欲しいと思います。今年、初の卒業生を次のステップに送り出します。野球の技術向上も大切ですが、野球を通して礼儀や感謝などの社会性を身につけて欲しい。ドラゴンズベースボールアカデミーに入って良かったと思って頂ければ幸いです。

野球は基本が大切です。この考えは変わりません。単調になりがちな練習の反復になったかもしれません。しかしこの1年の練習実績を積み重ねた結果、その道筋が見えて来ているのも事実であります。あくまでもこどもの将来のために。チームではないので公平に。グループ指導を通じて全

体のレベルアップを図っていききたいと思います。

最近、「投げられない」こどもの数が増加していると聞きます。遠くに投げる、速いボールを投げる、コントロール良く投げることはとても難しいのですが、まず投げる体験を沢山して欲しいと思います。

スポーツで身体を鍛えて、丈夫な体をつくれれば、健康になることに繋がると思っています。最後には、「野球が大好き」になって欲しいです。

「野球好き集まれ!」

中日ドラゴンズ OB 会長
鈴木 孝政



事務局長挨拶

アカデミーの基本的指導指針は、こどもの運動体験を増やすこと。将来のための基礎的技術を習得してもらうことです。

野球の上達を望むならば、こどもの発達に必要な色々な運動体験をすることが重要です。

特に5才から8才のこどもは脳を始め色々な神経量が増加し発達する時期です。その後骨が完成し、筋が発達して体ができていきます。

運動体験には遊びが含まれています。昔遊びの中には、子どもの神経系の発達に役立つ要素が沢山ありました。鬼ごっこや、かくれんぼ、木登りや、かけっこなどです。すばしっこく動き回り、軽い体重を活かして運動することが発達の基礎となるのです。しかし「外で遊ばない問題」が大きく立ちまわっているのです。このことは野球を本格的にプレーしているこどもにも当てはまるのです。パワーや技術は、この基礎的な運動体験の上に積み上げてあげることが必要なのです。

ここでスポーツの出番です。時間と場所と仲間をつくる場、思い切りス

ポーツができる環境を提供し、スポーツ競技者の底辺を成すべきジュニアの育成を図る。スポーツを通じて、協調性や課題克服力、忍耐力などを学び、人間力の土台を造ってもらう。そして野球の普及、振興を実現してスポーツの振興を目指したいと思います。

ドラゴンズベースボールアカデミースクール事業は、平日の開催を中心として地域のチームとの共存と繁栄の両立を目指します。アカデミー事業は、野球に関する情報発信。野球の普及活動に努め、地域のチームの競技者増加を目指したいと思います。

元中日ドラゴンズトレーニングコーチ
三木 安司



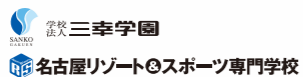
協賛一覧

SPONSOR



NPO法人ドラゴンズベースボールアカデミーの活動趣旨である幼児・児童・青年の健全な成長・発達とスポーツ振興にご賛同いただき、ご支援いただいている企業・団体様です。

特別協賛



協賛一覧



一般財団法人 石田退三記念財団

株式会社岩崎書店

株式会社M'sライク

(一財) 岡崎パブリックサービス

株式会社オーケイフーズ

有限会社デシベル

東郷町施設サービス株式会社

長苗印刷株式会社

株式会社明治

株式会社 DG Life Design

株式会社フィールドフォース

会員・寄付者の紹介

CONTRIBUTORS



ドラゴンズベースボールアカデミーの目的に賛同して下さった、個人及び団体の方々をご紹介します。(順不同)

賛助会員(団体)

佐藤あつしクリニック

賛助会員(個人)

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 梅木 政宏様 | 小山 歩様 | 井上 義隆様 | 鈴木 保様 | 鈴木登貴子様 |
| 水越 樹彦様 | 田中 正文様 | 磯村 勝則様 | 倉元 堅司様 | 菊田 和敏様 |
| 水越 聡様 | 今井 千尋様 | 村田 篤紀様 | 杉浦 克敏様 | 石堂 典秀様 |
| 大西 松久様 | 中山 雅様 | 本瀬 澄子様 | 石川 貴之様 | 岩田 英嗣様 |
| 品川 昇様 | 大井 修一様 | 林 昭様 | 中原 勉様 | 小田 隆子様 |
| 二瓶 雄樹様 | 岡本 大典様 | 廣田 和彦様 | 宮地 徳子様 | 伊藤 錠一様 |
| 伊藤鉄二男様 | 水野 厳根様 | 石井 猛様 | 新田 英貴様 | 小野田 実様 |
| 巢立 隆宏様 | 中島 健太様 | 服部彩矢香様 | 伊藤 鏡一様 | 杉山 里美様 |
| 杉山 英樹様 | 吉田 美幸様 | 谷藤 好美様 | | |



ドラゴンズベースボールアカデミー アカデミー事業



ドラゴンズベースボールアカデミーキッズ野球教室 協賛

「私たちは、DBAキッズ野球教室を応援しています。」



主催

NPO法人ドラゴンズベースボールアカデミー
中日ドラゴンズ 中日新聞社

協力団体

愛知県軟式野球連盟
ジュニアベースボールリーグ愛知 (JBLA)

野球普及活動

「DBAキッズ野球教室」

野球の普及を目的として「ドラゴンズベースボールアカデミー キッズ野球教室」を開催しています。少子化の影響。野球を見ない、野球をしない、野球に興味がない子ども達が増えています。地域の学童野球クラブチームでは団員が集まらず、やむなく消滅や合併に至ってしまうケースが多いと聞きます。この傾向は、競技者の底辺を担う、少年学童野球の縮小化、ひいては野球界全体の衰退にもつながりかねない大きな問題です。

DBAキッズ野球教室は、「野球を教える」のではなく「野球の楽しさ」を知ってもらうための野球体験会です。野球に興味はあるがやったことがない、または野球に興味を持ち始めた子どもが対象です。普及の目的は、野球を始めるきっかけづくりです。参加者の中にはボールを触ること自体が初めてという子どもも多く、ルールも分かりませんが野球に興味を持ってもらうことが大切です。当教室に参加した子どもたちが「野球って楽しい」と言って、帰宅後に両親とキャッチボールをやるような雰囲気をつくりたいと思います。

そのうえで、ひとりでも多くの参加者が野球に興味を持ち、地域のチームに入団して本格的に野球をやっている形が出来ればと考えています。

実施日	開催場所	所在地	参加人数
4月22日(土)	日光川ウオーターパーク	弥富・蟹江・飛鳥	63名
4月23日(日)	小牧市立大城小学校	小牧市	57名
4月30日(日)	港北公園野球場	名古屋市港区	100名
5月20日(土)	城山球場	尾張旭市	117名
5月21日(日)	名古屋市立千代田橋小学校	名古屋市千種区	94名
5月28日(日)	大高緑地児童球場	名古屋市緑区	98名
6月4日(日)	名古屋市立平和小学校	名古屋市中区	84名
6月18日(日)	美和グランド	あま市・大治町	78名
6月25日(日)	名古屋市立笠瀬中学校	名古屋市中村区	126名
7月9日(日)	志段味スポーツランド第1球場	名古屋市守山区	80名
7月22日(土)	北区洗堰緑地野球場	名古屋市西区	85名
7月29日(土)	愛知学院大学 野球部グランド	名古屋市名東区	97名
9月24日(日)	牧野ヶ池自由広場	名古屋市天白区	115名
9月30日(土)	岡崎市立井田小学校	岡崎市	137名
10月9日(祝)	瀬戸市民公園野球場	瀬戸市	92名
10月14日(土)	日進市総合運動公園野球場	日進市	107名
11月3日(祝)	豊田市総合運動公園多目的広場	豊田市	46名
11月4日(土)	城山球場	尾張旭市	149名
11月12日(日)	知多運動公園野球場	知多市	57名
11月19日(日)	春日井市民球場	春日井市	96名
11月25日(土)	大野極楽寺公園野球場	一宮市	98名
11月26日(日)	佐屋総合運動場	津島市・愛西市	56名
参加者数			2032名



野球に関する情報発信

「講習会の開催」

1 食育に関する情報 協力：明治

アスリートを目指すジュニアの食事の摂取の仕方。バランスの取れた食事とは具体的に何をどのように食べればよいのか。5大栄養素に対する理解と食事の重要性に関する啓蒙活動をする。こどもの健全な発達に寄与する取り組みです。基礎講座と試合期・水分補給をテーマに、年に二回開催しています。



2 目の大切さを知ってもらう活動 協力：キクチメガネ

最近の子どもたちは、目に負担をかける可能性のある生活が多々見られます。知らず知らずのうちに視力が低下しているケースも目立ちます。スポーツの活動には、基礎となる視力はもちろんのこと視覚機能が大切な役割を果たします。主な視覚機能には静止視力、動体視力、コントラスト感度、眼球運動、深視力、瞬間視、手と目の協調性などがあります。目でとらえた情報をいかにスポーツ動作に反映させるかが大切です。目を大切にもらうきっかけをつくる取り組みです。



3 野球に必要な能力について 協力：アシックス

野球の動きの基本となる、走る、投げる、打つ。3つの要素を数値的に分析し、走攻守への影響を評価します。フィードバックしながら指導を進める取り組みです。

- ① 走る
単純スピードと走塁への影響
- ② 投げる
ボールスピードと遠投能力
- ③ 打つ
スイングスピードと飛距離
- ④ 守る
反応時間と守備範囲



4 道具について

道具の整理整頓を習慣とし、物の大切さ、感謝を定着させる取り組みです。



5 動作解析 提携：BASEBALL ONE

コーチのアドバイスと、こどもの感覚とを一致させる取り組みです。練習直後に自分のフォームを動画で確認。普段の練習でのチェックポイント、姿勢・バランス・タイミングの評価。野球動作の解析などをコーチと共に確認しながらコーチングに生かします。



指導者の育成

インターンシップの受け入れ

提携：三幸学園名古屋リゾート&スポーツ専門学校

将来指導者を目指す学生のインターンを受け入れ、スクール運営に関わってもらうことで、社会体験を実現する。社会性の向上、人間形成に寄与する取り組みです。

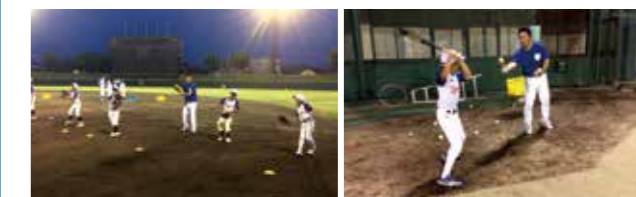


地域密着

ボランティアの受け入れ

協力：小林クリエイト

地域の企業様のご理解とご協力を得て、スクール指導補助のボランティアを受け入れています。地域の皆様と一緒に、少年・学童の健全な育成に共に貢献します。



ドラゴンズベースボールアカデミー スクール事業



ドラゴンズベースボールアカデミーは3つのカテゴリーに別れており、初心者から経験者まで、
個々の学年・レベルに応じて指導していきます。

低学年
(1年生から3年生)

ティーボール

キッズコース

まずはボール遊びで仲間づくり!

キッズコースは、ティーボール(軟球よりも柔らかいゴム製ボール)を使用し、ボールに対する恐怖感を感じることなく、ベースボール型スポーツを体験できます。野球への導入を初歩レベルから指導し、基本的な動きを簡単に身につけることができますので、まずは、お友達と楽しくボール遊びができることが魅力です。



月曜日校	東郷町	火曜日校	名古屋市(瑞穂区)	水曜日校	岡崎市
木曜日校	刈谷市	金曜日校	岐阜市(巡回)		
時間	16:30~17:30		定員	各曜日・定員30名	

ジュニアコース

基礎を学びながらレベルアップ

ジュニアコースは、軟式ボールを使用し、初心者から経験者までの各レベルに合ったカリキュラムを用意し、基礎を学びながらレベルアップを図ります。野球を通じて社会性を伸ばすことも目指します。



月曜日校	東郷町	火曜日校	名古屋市(瑞穂区)	水曜日校	岡崎市
木曜日校	刈谷市	金曜日校	岐阜市(巡回)		
時間	17:40~19:00		定員	各曜日・定員30名	

エキスパートコース

夢に近づく第一歩

エキスパートコース(小学生)は、投げる・打つ・走るの3要素に重点を置き個人技術を学ぶことで、チームを勝利させるプレーに結びつけることを目指します。より高いレベルの基本的動きを獲得することで、次のレベルアップにチャレンジした時に対応できることを目標とします。また野球を通じて社会性を伸ばすことも目指します。



水曜日	岡崎市	時間	19:10~20:30	定員	6名
水曜日	名古屋市(戸田)	時間	16:00~17:20	定員	15名
木曜日	刈谷市	時間	19:10~20:30	定員	18名

エキスパートコース

夢の実現に向けて!

エキスパートコース(中学生)は、プロの技術指導を学びながら、基礎と応用を身につけレベルアップを図ります。硬式球は、正しい基本技術と正しい動作を組み合わせる必要があります。体にも無理がない動きを獲得することが、必ず次のレベルアップに繋がります。また礼儀・感謝・マナーなどの社会性の向上も目指します。



水曜日	岡崎市	時間	19:10~20:30	定員	10名
水曜日	名古屋市(戸田)	時間	17:30~18:50	定員	15名

※記載されている時間は、2017年12月1日現在のものです。

ドラゴンズベースボールアカデミースクール 会場詳細

曜日	開催地名	会場	主催・共催・協力
月曜日校	東郷町校	愛知池運動公園野球場	主催:東郷町施設サービス(株)
火曜日校	名古屋市 瑞穂校	パロマ瑞穂スポーツパーク	共催:(公財)名古屋市教育スポーツ協会
水曜日校	岡崎市校	岡崎中央総合公園	協力:(一財)岡崎パブリックサービス
水曜日校	名古屋市 戸田校	リミックスベースボール室内練習場	協力:琴葉(株)
木曜日校	刈谷市校	刈谷球場	協力:刈谷市軟式野球連盟
金曜日校	岐阜市校	八ッ草球場 もえぎの里 多目的体育館	

ドラゴンズベースボールアカデミースクール コーチ陣

校長 鈴木孝政

コーチ

木俣達彦(捕手)	片貝義明(捕手)
小川宗直(投手)	長谷部裕(捕手)
山北茂利(投手)	澤井道久(内野手)
湊川誠隆(内野手)	



小学生

高学年
(4年生から6年生)

軟式

中学生

1年生から3年生

硬式



野球振興事業の後援について

ダイワハウス全国少年少女野球教室

NPO法人ドラゴンズベースボールアカデミーは、5月14日(日)全国で一斉開催された、「ダイワハウス全国少年少女野球教室・主催(公社)全国野球振興会」の愛知県開催(パロマ瑞穂野球場)を後援しました。

この活動の支援を通じて、参加者の皆さんの、野球への興味がさらに深まればと思います。

<https://www.obclub.or.jp>

第七回中日スポーツ杯少年野球大会

NPO法人ドラゴンズベースボールアカデミーは、第七回中日スポーツ杯少年野球大会の後援をしています。

少年野球大会を応援することで、野球振興を図り、試合を通じて競技者の意欲が高まればと思います。

DBA幼稚園訪問

「ドラゴンズベースボールアカデミー幼稚園訪問」

6月10日(土) たつみ幼稚園(岡崎市)、6月11日(日)たつみ第二幼稚園(額田郡幸田町)を訪問しました。

対象は園児年長。一人でボールの扱い方を体験した後、野球の中で最も人気が高い、バットでボールを打つことを体験してもらいました。

園児たちは、「意外と楽しい!」と言う声が多く、初めて感じるボールを使った運動体験に声をあげていました。体験の目的は、上手くできたかではなく、運動の経験をすることで出来たと感じることに参加してくれた園児の皆さん出来ました。

この体験をきっかけに、日頃からボールを身近に感じて「ボールで遊んでくれる」ことも一人でも増えて欲しいと思います。



中日ドラゴンズカップの後援について

ドラゴンズベースボールアカデミーは、8月に開催される中日ドラゴンズカップ(中学硬式野球大会)を応援しています。

中部地区(U15)硬式野球チームのNo.1を決めるこの大会を後援することで、少年野球のプレーヤーが夢を持ち続けられるよう貢献したいと思います。

中日ドラゴンズのホームグラウンドである、ナゴヤドームで頂点を目指して欲しいと思います。



中日ドラゴンズ・ジュニアチーム後援について

ドラゴンズベースボールアカデミーは、毎年12月に開催されるNPB12球団ジュニアトーナメント2017:中日ドラゴンズ・ジュニアチームを応援しています。12球団のジュニアチームは、プロと同じデザインのユニホームを着用し、日本一を目指して戦います。この大会に参加するチームを応援することで、学童野球のプレーヤーが夢を持ち続けられるよう貢献したいと思います。

<http://dragons.jp/junior/jr/>



1年振り返り

室内練習



入校体験会



社員総会



オールスターゲーム2017 守備位置体験



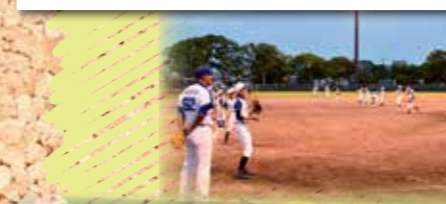
ティーボール大会



公式戦始球式



通常練習



修了証





特定非営利活動法人 ドラゴンズベースボールアカデミー

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目1番1号

TEL052-212-5433 受付日時 10:00~12:00
13:00~17:00(土日祝は休み)

<http://www.kidsdragons.net>

